

奥行臼史跡公園整備基本計画（案）概要版

1 計画策定の経緯と目的

奥行地区には3つの時代の異なる交通遺産（旧奥行臼駅通所・旧国鉄奥行臼駅・旧村営軌道風蓮線奥行臼停留所）があります。平成23年に旧奥行臼駅通所が国の史跡に指定され、平成26年に史跡旧奥行臼駅通所保存管理計画を策定しました。その計画において、旧奥行臼駅通所だけでなく、徒歩圏内にある町指定文化財旧国鉄奥行臼駅と旧村営軌道風蓮線奥行臼停留所を合わせて一体的に整備する構想を示しました。旧奥行臼駅通所の老朽化が著しかったため、整備計画策定に先駆けて、平成28年度から平成30年度までの3年間かけて旧奥行臼駅通所を実施しています。令和3年度には奥行臼史跡公園整備基本構想を策定、令和4年度からは、基本構想で展望した事業の方向性を踏まえ、適宜見直しを行いながら、実現性の高い内容及び具体的な方法を示すため、奥行臼史跡公園整備基本計画を策定しているところです。

本計画は、奥行地区に数多くある交通歴史遺産を次の世代に引き継ぐためにどのように保存していくか、地域の活性化に繋がるためにどのように活用していくか、その整備事業内容、実現の方法、課題等について詳しく示すことを目的としています。

2 奥行臼史跡公園整備基本計画の概要

（1）整備の理念と方針

本計画では、「近代の交通遺産による道東地域の歴史や別海地域の発展を支えた奥行地区の体感」を基本理念とし、「守り伝える」「学び感じ取る」「つなぎ広げる」を全体整備の考え方としています。

（2）史跡公園の基本機能

奥行臼史跡公園には、「歴史文化継承機能」「休憩機能」「情報提供機能」「地域連携機能」の4つの基本機能を導入します。

（3）別海町における史跡公園の位置づけ

鉄道記念公園が設置されている西春別と3つの交通遺産が残る奥行臼は、本町において交通遺産の拠点であり、東の拠点である奥行臼を3つの交通遺産の歴史と風景を感じる史跡公園と位置づけ、文化財の保全と公園としての整備を行い、歴史を学ぶ体験する場所とします。

（4）ゾーニング及び整備計画

公園計画予定地を6つのゾーンに分け、ゾーンごとに整備の具体的手法を示します。

「①駅通所時代の風景体験ゾーン」は、史跡旧奥行臼駅通所の指定範囲をエリアとします。旧奥行臼駅通所の主屋は修理工事が完了していますが、老朽化が進んでいる馬小屋2棟と物置1棟の修理工事を行います。また、活用面では馬小屋を現在も行っている乗馬体験に活かしていく整備を行います。

「②旧国鉄体感ゾーン」は、町指定文化財旧奥行臼駅を核とするゾーンで、駅舎のみならず、ホーム、線路、詰所、石炭庫、倉庫などが丸ごと残っており、往時の雰囲気をそのまま残しています。しかし、いずれの建造物も老朽化が著しいことから、これら数多くある歴史的建造物の修理工事を順次行っていきます。また、1キロほど残っているレールを活かし、トロッコ乗車体験を提供できるよう整備を行います。

「③旧村営軌道線体感ゾーン」は、町指定文化財旧村営軌道風蓮線奥行臼停留所を核とするゾーンです。自走客車、機関車、ミルクゴンドラ車、また転車台、事務所兼職員住宅、車庫、修理工場が残っています。このうち、自走客車と機関車については動態保存を行い、線路を復元して走らせることを目指します。その他の施設についても順次修理工事を実施します。

「④自然体験ゾーン」は、旧国道と線路跡に囲まれた森林地帯で、当面は活用せずに現状のままとします。

「⑤ガイダンスゾーン」は、現在駐車場とトイレが設置されているゾーンで、史跡公園への入り口と位置付けて、ガイダンス施設を設置します。ガイダンス施設は歴史文化継承機能として3つの交通歴史遺産を解説する展示室、地域連携機能として軽食販売やミュージアムショップ、休憩機能として24時間使用可能なトイレを備えます。現段階での計画では、規模としては必要最小限の機能を備える施設とします。

「⑥交流ゾーン」は、現奥行会館を中核とするゾーンで、当面は現状維持としますが、史跡公園の第二駐車場としての整備を行います。

（５）管理運営の方向性

当面は公設公営（直営方式）とし、将来的にはNPO法人等を指定管理団体として運営することを想定します。各種イベントや販売などで得た収益を、維持管理費等に充てることとします。

（６）概算工事費とスケジュール

令和7年度から整備を開始し、令和12年度までは歴史的建造物の保存修理工事を順次行っていきます。旧奥行臼駅の駅舎修理工事と村営軌道風蓮線奥行臼停留所の自走客車及び機関車の動態化については、クラウドファンディングで資金を募った上で実施します。

令和13年度からは、公開に必要な最低限の設備・管理施設の整備を実施します。

ガイダンス施設は令和17年度に設置し、令和18年度に史跡公園として正式にオープンすることを目指します。オープン後も魅力向上のための各種整備を行います。

令和20年度までの総事業費は、約19.8億円を見込んでいます。

なお、令和11年度から令和20年度までは別海町第8次総合計画の計画期間であるため、この期間の整備内容については、第8次総合計画策定時に改めて十分に検討を行います。

0m 100m 200m 300m

縮尺：1/3000 (A3)



①駅通所時代の風景体感ゾーン
駅通所時代の風景を体感できるゾーンとして、
史跡の本質的価値を構成する諸要素の老朽化や
劣化が著しいものはその本質的価値を損なわ
ないよう、保存修理を行う。

表現手法
建物・草地・樹林も含め保存の手法をとる。

③旧村営軌道跡体感ゾーン
村営軌道時代を体感する環境を創造するゾ
ーンとして、奥行臼の歴史を伝える文化財や歴
史的地域資産はその本質的価値を損なうこと
なく、未来への遺産として保存活用する。

表現手法
建物や車両の保存、線路や構内の復元を行う。

④自然体験ゾーン
当面は旧道を見せるエリアとする。
将来的には自然環境を活かして、自
然観察や環境学習ができるゾーンと
して、樹木の管理を行う。

4 自然体験ゾーン

3 旧村営軌道跡体感ゾーン
(1963～1971)

2 旧国鉄線体感ゾーン
(1933～1965)

6 交流ゾーン

5 ガイダンスゾーン

②旧国鉄線体感ゾーン
国鉄時代を体感する環境を創造するゾ
ーンとして、奥行臼の歴史を伝える文
化財や歴史的地域資産はその本質的価
値を損なうことなく、未来への資産と
して保存活用する。

表現手法
建物やホームの保存、線路の修繕を行
う。

⑥交流ゾーン
当面は臨時駐車場の機能とする。
将来的には交流、情報発信、地域の
歴史展示、収益展開を図るゾーンと
する。

⑤ガイダンスゾーン
史跡公園の維持管理および各
史跡の導入となる機能として
拠点施設を置く。